

Title	編集後記
Sub Title	
Author	黒田, 裕樹(Kuroda, Hiroki)
Publisher	慶應SFC学会
Publication year	2025
Jtitle	Keio SFC journal Vol.25, No.1 (2025.) ,p.100- 100
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11671240-00250001-0100

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

SFC JOURNAL25 巻 1 号をお届けします。

今回は自由論題のみで構成された号となり、研究論文、研究ノート、学会動向にそれぞれ 1 報ずつご投稿をいただきました。いずれも SFCらしい学際性や独自の視点に富んだ力作であり、多様な学術的関心が交差する本誌の特徴を改めて感じさせる内容となっています。

また、今回より新たな試みとして、退職教員による特別寄稿を掲載する運びとなりました。第 1 回目として、金井昭夫先生と巖網林先生より、それぞれの研究人生を振り返る重厚な原稿をお寄せいただきました。お二方のご寄稿は、SFC の教育・研究の根幹に長年携わってこられた教員としての思索と、後進への温かなエールに満ちています。SFC の歩みを記録し、未来へとつなぐ試みとして、今後もこの企画を継続していく予定です。

さらに、オールカラー化から 1 周年を迎えることを記念して企画されたフォトコンテスト「MY FAVORITE SNAPSHOT OF SFC」には、予想を上回る多数のご応募をいただきました。応募作品の中から厳選された 40 点を、本号のコラムにて紹介しています。SFC の四季折々の風景や学生の日常が切り取られた作品群は、SFC という場の豊かさと多様性をビジュアルからも伝えてくれるものとなりました。

なお、本号は、私・黒田が編集長として携わる最後の号となります。第 22 巻 1 号より編集長として編集実務を担当してきたこの四年半、本誌が学会員の皆さまにとって有意義な学术交流の媒体となるよう、尽力してまいりました。オールカラー化、A4 サイズへの刷新、全論題への DOI 付与など、いくつかの仕組みの改善に関与できた一方で、学術的水準の向上という点では、なお力の及ばなかった面があると痛感しています。

次号からは、若手でありながらすでに卓越した業績をもつ行政学の研究者・篠原舟吾先生に編集長を引き継ぎます。私が導けなかったさらなる高みに、必ずや本誌を引き上げてくださるものと確信しています。新たなステージに入る SFC JOURNAL にご期待ください。

最後に、6 月に逝去された長嶋茂雄さんの言葉を借りて、この場を締めくくります。SFC JOURNAL は、永久に不滅です！

2025 年 7 月 28 日

黒田 裕樹

KEIO SFC JOURNAL 編集長